



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名 株式会社 ユーシン
 コード番号 6985 URL <http://www.u-shin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田邊 耕二
 (氏名) 田尾 和也
 配当支払開始予定日

TEL 03-5401-4660
 平成25年8月12日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	30,610	0.5	1,454	△24.0	3,695	121.1	3,853	692.5
24年11月期第2四半期	30,462	10.4	1,914	8.9	1,671	34.6	486	△22.3

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 7,549百万円 (—%) 24年11月期第2四半期 490百万円 (△20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	127.04	—
24年11月期第2四半期	15.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第2四半期	140,896	37,846	26.8	1,262.10
24年11月期	97,187	31,130	32.0	1,003.04

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 37,810百万円 24年11月期 31,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年11月期	—	5.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	79.9	4,000	52.7	4,700	112.8	4,200	—	138.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

U-Shin Holdings Europe B.V.(オランダ)、U-Shin France S.A.S.(フランス)、
新規 4社 (社名) U-Shin Slovakia s.r.o.(スロバキア)、U- 、除外 1社 (社名) 大和精工株式会社
Shin do Brasil Sistemas Automotivos Ltda.(ブラジル)

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期2Q	31,995,502 株	24年11月期	31,995,502 株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	2,036,972 株	24年11月期	986,794 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期2Q	30,335,332 株	24年11月期2Q	30,594,035 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 企業結合等関係	10
(8) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、産業機械部門及び自動車部門における一部の国内顧客からの受注回復が下半期へずれ込んだことにより、売上高は306億10百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は14億54百万円（同24.0%減）となりました。

経常利益は、為替相場の円安転換に伴い、保有する外貨建て資産等について為替差益31億79百万円を計上したことにより、36億95百万円（同121.1%増）となりました。

四半期純利益は、広島新工場及び建設中のメキシコ新工場に対する公的助成金収入15億82百万円を特別利益に計上したこともあり、38億53百万円（同692.5%増）となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりです。

（自動車部門）

海外での生産・販売は堅調に推移しましたが、国内において一部の顧客からの受注回復が下半期へずれ込んだため、売上高は210億61百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益は15億12百万円（同10.6%減）となりました。

（産業機械部門）

中国・欧州の景気低迷の影響を受けて、建設機械向け・工作機械向けの出荷が緩やかな回復に留まったことから、売上高は81億26百万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益は9億10百万円（同19.2%減）となりました。

（住宅機器部門）

国内の住宅着工が順調に推移したため、売上高は14億22百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は1億55百万円（同65.6%増）となりました。

なお、仏Valeo社からのアクセスメカニズム事業会社の株式取得による支配獲得日は平成25年5月24日であり、当第2四半期連結累計期間については、当該事業会社の貸借対照表のみを連結しております。

従って、当第2四半期連結累計期間の業績には、当該事業会社の業績は含まれておりません。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

アクセスメカニズム事業会社を連結子会社化したことにより、当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,408億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて売掛金、棚卸資産、有形固定資産を中心に、437億9百万円増加しました。なお、同事業会社の連結に伴って、のれん71億20百万円を計上しており、今後20年間で均等償却を行います。

同様に負債は1,030億50百万円と、前連結会計年度末に比べて買掛金等の営業債務を中心に、369億94百万円増加しました。なお、有利子負債が139億89百万円増加したのは、当社においてアクセスメカニズム事業会社の取得資金の借入を行ったことが、主な要因です。

純資産は378億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて67億15百万円増加しました。四半期純利益38億53百万円の計上による利益剰余金の増加と、株式・為替両市場の好転による保有株式等に関する評価・換算差額の改善36億88百万円が、主な要因です。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は26.8%となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における、現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べて82億80百万円減少し、254億38百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における、キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、25億92百万円（前年同四半期は15億91百万円の収入）となりました。税金等調整前四半期純利益54億68百万円を計上する一方で、未払金、未払費用、利息等の支払を行ったことが、主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、180億97百万円（前年同四半期は52億29百万円の支出）となりました。主な内容は、アクセスメカニズム事業会社の株式取得による支出、及びメキシコ・中国における新工場の建設と本稼働の準備に伴う有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により調達した資金は、64億12百万円（前年同四半期は33億94百万円の収入）となりました。主な要因は、アクセスメカニズム事業取得のため長期借入による収入を得る一方で、当該事業会社に対するValeo社からの貸付金の返済を行い、また株主還元策として自己株式の取得と配当金の支払を行ったことによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上・利益ともに、平成25年1月11日に公表した予想値を上回りました。通期業績につきましても、自動車・産業機械両部門の受注・出荷が下半期に更に回復する見込みであること、また、アクセスメカニズム事業について、株式取得手続きが遅れたものの、子会社化後の業績は期初予想を上回る見込みであることから、売上・利益ともに、公表済みの予想値を上回る見通しであります。

詳細は、本日公表しました「営業外収益及び特別利益の計上並びに第2四半期連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」及び「平成25年11月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、アクセスメカニズム事業の持株会社であるU-Shin Holdings Europe B.V.の株式を仏Valeo社より取得し、当該持株会社及び傘下の事業会社10社（内、特定子会社4社）を連結の範囲に含めております。また、大和精工株式会社は、当社との合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）、及び工具器具備品のうち金型については定額法）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、中長期戦略の下、競争力確保のため海外への生産シフトを進める一方で、国内については広島新工場をグループのマザー工場として位置付け、国内の設備、技術、人材を集約することで生産体制の変革を進めております。平成24年12月に広島新工場が本格稼働するのを契機に、国内製造設備の内容、使用状況等を検討した結果、当社及び国内連結子会社の有形固定資産は今後は每期安定的に稼働し使用する見通しであることが確認されました。したがって、その投資効果は耐用年数の期間中に平均的・安定的に発現するものであるため、定額法による減価償却が合理的であると判断しました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が253百万円減少し、営業利益は225百万円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ231百万円増加しております。

なお、セグメントに与える影響については、セグメント情報等に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,718	25,438
受取手形及び売掛金	15,363	29,755
有価証券	23	—
商品及び製品	3,594	6,365
仕掛品	1,541	2,222
原材料及び貯蔵品	3,969	6,592
その他	3,937	5,106
貸倒引当金	△422	△649
流動資産合計	61,725	74,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,872	11,840
機械装置及び運搬具（純額）	3,811	11,649
工具、器具及び備品（純額）	2,347	3,755
土地	7,923	9,665
建設仮勘定	3,141	7,025
有形固定資産合計	25,096	43,937
無形固定資産		
のれん	—	7,120
その他	487	2,991
無形固定資産合計	487	10,112
投資その他の資産		
投資有価証券	6,833	9,412
その他	3,205	2,572
貸倒引当金	△201	△3
投資その他の資産合計	9,836	11,981
固定資産合計	35,420	66,032
繰延資産	41	34
資産合計	97,187	140,896

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,620	20,194
短期借入金	5,600	4,809
1年内償還予定の社債	400	300
1年内返済予定の長期借入金	7,391	7,326
未払金	9,149	5,886
未払法人税等	126	1,145
賞与引当金	91	595
役員賞与引当金	132	126
製品補償引当金	1,042	843
工場解体費用引当金	160	160
その他引当金	—	433
その他	2,376	7,990
流動負債合計	32,090	49,812
固定負債		
社債	1,700	1,600
長期借入金	30,065	46,465
退職給付引当金	1,302	2,843
その他引当金	—	468
その他	897	1,860
固定負債合計	33,965	53,237
負債合計	66,056	103,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,016	12,016
資本剰余金	12,122	12,122
利益剰余金	9,230	12,968
自己株式	△585	△1,304
株主資本合計	32,783	35,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683	2,364
為替換算調整勘定	△2,363	△356
その他の包括利益累計額合計	△1,680	2,008
少数株主持分	27	35
純資産合計	31,130	37,846
負債純資産合計	97,187	140,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	30,462	30,610
売上原価	25,258	25,698
売上総利益	5,204	4,912
販売費及び一般管理費	3,289	3,457
営業利益	1,914	1,454
営業外収益		
受取利息	19	36
受取配当金	61	69
為替差益	88	3,179
その他	58	96
営業外収益合計	227	3,380
営業外費用		
支払利息	331	303
事業統合関連費用	—	601
その他	140	236
営業外費用合計	471	1,140
経常利益	1,671	3,695
特別利益		
投資有価証券売却益	34	48
助成金収入	—	1,582
その他	0	150
特別利益合計	34	1,780
特別損失		
固定資産除売却損	10	6
製品補償引当金繰入額	721	—
その他	44	1
特別損失合計	776	7
税金等調整前四半期純利益	929	5,468
法人税、住民税及び事業税	521	816
法人税等調整額	△76	797
法人税等合計	445	1,613
少数株主損益調整前四半期純利益	484	3,854
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	0
四半期純利益	486	3,853

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年12月1日 至平成24年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年12月1日 至平成25年5月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	484	3,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	1,681
為替換算調整勘定	△65	2,014
その他の包括利益合計	5	3,695
四半期包括利益	490	7,549
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	491	7,541
少数株主に係る四半期包括利益	△1	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	929	5,468
減価償却費	1,232	1,351
引当金の増減額(△は減少)	874	255
為替差損益(△は益)	△18	△1,336
助成金収入	—	△1,582
売上債権の増減額(△は増加)	△37	128
たな卸資産の増減額(△は増加)	110	△341
仕入債務の増減額(△は減少)	△44	△612
未払金の増減額(△は減少)	299	△1,292
その他	△825	△1,188
小計	2,519	849
利息及び配当金の受取額	53	84
利息の支払額	△325	△244
助成金の受取額	—	1,529
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△656	374
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,591	2,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,607	△3,905
無形固定資産の取得による支出	△184	△102
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△14,189
その他	△437	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,229	△18,097
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△800
長期借入れによる収入	4,000	17,900
長期借入金の返済による支出	△1,348	△1,565
社債の発行による収入	2,000	—
社債の償還による支出	△1,100	△200
アクセスメカニズム事業会社に対するValeo社からの貸付金の返済による支出	—	△8,048
自己株式の取得による支出	△0	△719
配当金の支払額	△183	△154
その他	27	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,394	6,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	△167	812
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△410	△8,280
現金及び現金同等物の期首残高	39,404	33,718
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△39	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,954	25,438

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至 平成24年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,186	8,892	1,382	30,462	-	30,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	137	37	2	176	△176	-
計	20,323	8,930	1,385	30,639	△176	30,462
セグメント利益	1,691	1,126	94	2,912	△997	1,914

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去19百万円及び全社費用△1,016百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年12月1日 至 平成25年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,061	8,126	1,422	30,610	-	30,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	57	6	170	△170	-
計	21,168	8,184	1,428	30,781	△170	30,610
セグメント利益	1,512	910	155	2,578	△1,123	1,454

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去23百万円及び全社費用△1,147百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社における有形固定資産の減価償却方法を変更しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、自動車部門で203百万円、産業機械部門で6百万円、住宅機器部門で7百万円それぞれ増加しております。

（報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更）

報告セグメント別の損益をより適切に把握するため、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに直接関係しない一般管理費等については各報告セグメントに配賦しない方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（のれんの金額の重要な変動）

当第2四半期連結累計期間において、U-Shin Holdings Europe B.V.及びその子会社10社の株式を取得したため、「自動車部門」のセグメントにてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は7,120百万円としておりますが、取得契約に基づいて株式の取得原価の精査を行っており今後変動が見込まれること、また取得原価の配分も完了していないことから、暫定的なものであります。

（7）企業結合等関係

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 U-Shin Holdings Europe B.V.及びその子会社10社
事業の内容 自動車用部品の研究開発及び製造販売

(2) 企業結合を行った主な理由

国内市場の縮小が見込まれる中、欧州系自動車メーカーを主要顧客とするValeo社のアクセスメカニズム事業を傘下に収めることで、新規の海外顧客を獲得し、当社グループの更なる成長を目指すためであります。

(3) 企業結合日

平成25年5月24日

(4) 企業結合の法的形式

現金による株式取得

(5) 結合後企業の名称

U-Shin Holdings Europe B.V.（オランダ）
U-Shin France S.A.S.（フランス）
U-Shin Deutschland Zugangssysteme GmbH（ドイツ）
U-Shin Deutschland Grundvermögen GmbH（ドイツ）
U-Shin Italia S.p.A.（イタリア）
U-Shin Slovakia s.r.o.（スロバキア）
U-Shin Spain S.L.（スペイン）
U-Shin Access Mechanisms L.L.C.（ロシア）
U-Shin do Brasil Sistemas Automotivos Ltda.（ブラジル）
U-Shin Access Mechanisms Mexico S.A.de C.V.（メキシコ）
有信汽车系统（无锡）有限公司（中国）

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の100%を取得したため。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第2四半期連結累計期間には被取得企業の業績を含んでおりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	19,167百万円
取得に直接要した費用（アドバイザー費用等）	996百万円
取得原価	20,163百万円

なお、株式取得契約に基づく譲渡対価の精査を現在行っており、取得原価は今後変動する見込みです。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんのご金額

7,120百万円

なお、当該事象によるのれんの計上額は7,120百万円としておりますが、取得契約に基づいて株式の取得原価の精査を行っており今後変動が見込まれること、また取得原価の配分も完了していないことから、暫定的なものであります。

(2) 発生原因

受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額と取得原価との差額をのれんとして処理するものであり、今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力の合理的な見積りにより発生しております。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

(8) 重要な後発事象

固定資産の譲渡

当社は、平成25年7月12日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を決議しました。

これに伴い、平成26年11月期第1四半期において、特別利益(固定資産売却益)647百万円が発生する見通しです。なお、詳細につきましては本日公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」をご参照ください。